

令和5年度マグノリア事業計画書

1. 施設理念

地域の総合相談窓口機能を強化し、地域と共に歩み、地域に選ばれる施設を目指す。

2. 施設方針・テーマ

地域および法人の相談窓口として安心してご利用いただける在宅サービスを提供します。

3. 実施事業

(1) 通所介護事業

- ・通所介護 定員 45名
- ・介護予防・日常生活支援事業・日中一時支援 定員 20名
- ・認知症対応型通所介護事業 定員 12名

(2) 短期入所生活介護事業（2ユニット）

- ・緊急入所 定員 1名

(3) 認知症対応型共同生活介護「マグノリア」

- 認知症対応型共同生活介護「かりん」 定員 18名

(4) 訪問介護事業（介護サービス・介護予防サービス・地域支援事業

障がい福祉サービス・重度障がい児者医療型ショートステイ）

(5) 居宅支援事業（居宅介護支援センター）

(6) 地域包括支援事業（地域包括支援センター）

(7) その他

配食サービス事業

4. 重点目標

その人らしく、自分らしく、住み慣れた地域での生活が継続できるよう総合的に支援します。

(1) 人材育成と職場定着

◆専門職集団の強みを活かした人財育成に取り組む。

①専門職が中心となり施設内研修の実施

外部研修へ意欲的に参加し、新しい情報（研修・介護技術）を積極的に取り入れる。（オンライン研修の活用）

②ICT化の加速。タブレット等ICT機器を有効活用し業務効率化を

図る。

- ③働きやすい職場環境作り（業務改善・メンタルヘルス）
長時間労働削減を意識した業務改善

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

- ◆伴走型相談・支援の拠点として利用者の生活を支える。

- ①LIFE への取り組みを確実に行う
- ②利用者へ新しい満足を提供できるような創意工夫を行い選ばれるサービス、個別ケアの充実を図る。（次世代型デイサービスへの展開、営業活動）
- ③「何でも相談コーナー」を地域の中で積極的に展開していく

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

- ◆各リスクに対する予防・安全策の取り組み

- ①感染予防対策の継続。
感染委員会の活動の充実と物品管理を行う。
- ②レベル3の事故防止、ヒヤリハット、是正予防の活用方法と予防的視点で気づき、対応策が検討出来るよう取り組む。
研修の実施と入力の簡素化。
- ③地域住民参加型の防災、災害訓練の実施。

(4) 施設・設備整備

- ◆安全で安心できる施設環境、職員の職場環境の整備。

- ①計画的に改修を実施し各事業所の環境整備を行う。
（グループホーム、デイサービス等）
- ②ナースコール設備、火報設備、冷暖房設備等 老朽化による交換
- ③公用車の整備と安全運転研修の実施。計画的な更新を行う

(5) 地域連携・社会貢献

- ◆地域の総合窓口として事業ごとに地域活動に取り組む

- ①地域住民、ボランティアとの交流促進
（マグカフェ・かりん子ども食堂）。
地域住民対象に外部にて相談コーナーを開催する。
- ②広報誌（地域配布）（専門職による役立つ情報、知識の提供）。
ホームページを活用し各事業所の活動紹介
広報誌にて専門職による情報提供。

③地域住民からボランティア講師を依頼し、幅広い活動の提供

(6) 経営管理

◆各事業の安定経営（経営的視点）を目指す。

（受入れ基準の明確化を図りシームレスなサービス提供の実現を目指す）

①係数目標

通所介護事業	65.7名
・通所介護	37.8名
・介護予防・日常生活支援事業・日中一時支援	19.0名
・認知症対応型通所介護事業	8.9名
短期入所生活介護事業・緊急入所	19.3名
認知症対応型共同生活介護「マグノリア」	17.9名
認知症対応型共同生活介護「かりん」	17.9名
訪問介護事業	25名
居宅支援事業（居宅介護支援センター）	190名
地域包括支援事業（地域包括支援センター）	170名
配食サービス事業	30食

運営会議を活性化し、目標と実績開示により、計画の達成を目指す。

②各事業の安定稼働へ向けた収支の分析

③顧客満足度アンケート内容を見直し満足度向上を目指す

5. 新規事業

デイサービス時間延長

6. その他

なし